

般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は22人の議員が質問に立ち、41項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索



質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。>第4回定例会の会議録は、2月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。>会議録検索システムは、2月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継



本会議および常任・特別委員会の様子を市議会のホームページからご覧ください。>開催日に生中継を配信します。>録画中継は、本会議当日の4日後(土曜・日曜日、祝日を除く)から配信します。>スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

池田としえ

(無党派)

ことを厚生労働省のホームページから把握しています。

ヤングケアラー支援策強化で委員会視察の成果を発揮しよう

ヤングケアラー支援の補強策について問う。

ヤングケアラーの発見から支援につながるまでの連携の核となる役割を担う人材として、ヤングケアラーコーディネーターの導入を検討しており、令和6年度の配置を目指しています。

窪田知子

(公明党)

認知症対策の強化で高齢者の活躍を応援しよう！

軽度認知症高齢者の就業機会の確保を問う。

シルバード人材センターでは、認知症の有無に関わらず、希望者の状況を把握し、就労可能な事業を検討し、可能な限り仕事を紹介しています。今後も認知症であるかどうかで区別されることなく、

中嶋良樹

(チームからい)

三世代近居・同居施策の推進について、職住近接のまちづくりを。

三世代がよりそうくらし基本方針と、日野地域未来ビジョン2030との整合性を問う。

持続可能な地域づくり、交流の促進や生活支援などをうたつており、整合は取れていると考え、周知します。

鈴木洋子

(自由民主党)

60周年を契機に拓く日野の未来を問う

地域でのビジネスを策定する取り組みを問う。

人々や資本をつなぐためのフューッティションの心構えを学ぶ講座や、自分の行いたい取り組みをプレゼンテーションし、表現する、ひの未来ストーリーフェスを開催しました。今後は、個別で多様な取り組み事例や問題意識などを見える化することで、取り組みを広げていくような展開を検討しています。

谷和彦

(自由民主党)

「日野用水」を世界に発信しよう！施設遺産に登録すること、水田および用水路の保全につなげていくことを考えています。

中野あきと

(日本共産党)

物価高騰から暮らしを守り、教育・子育て、個人の尊厳と多様性を尊重・保障する予算編成をいふこと、自治体ができること、やらなければならないこと。

物価高騰から市民生活を守る予算編成を。物価高騰による支出増が、収入面を上回っている状況が生じているため、

伊東秀章

(無党派)

ペット防災

ペット防災の現状を問う。

ペット同行避難についての心得と準備をホームページで閲覧できるほか、イベントでも周知啓発を行っています。

動物救護本部の立ち上げの可能性を問う。

現段階では、地域防災計画や協定の状況から、一定の整備がされており、

馬場賢司

(公明党)

幼児教育の今後の在り方について

空き教室を活用し、週1回から利用可能な定期的な預かり制の構築を所望型認定こども園の設置など、公立幼稚園の機能維持しながら課題に対応できる方法について、検討を進める必要があると考えます。

佐藤琢磨

(無党派)

市の情報発信 情報配信とサイバー防衛について問う

サイバー攻撃に対する対策について問う。

外部からの攻撃と職員の情報セキュリティに対する意識向上のための研修会実施、内部や外部の監査と同時にインターネット出入口は東京都区市町村の広域で監視する仕組みを導入しています。

伊藤あゆみ

(自由民主党)

芸術文化とともに幸せである日野づくり

市民の文化権を守るために、

新選組ふるさと歴史館、市民会館などの利用者数推移を問う。

新選組ふるさと歴史館では、コロナ前の水準に戻りつつあります。市民会館の利用状況は、令和元年度と比較して約73%まで回復しました。今後の方向性を問う。

利用者の安全に配慮するとともに、芸術文化に触れる機会を提供するため、定期的に改修や修繕などを実施します。

市民の文化権を守るために、新選組ふるさと歴史館、市民会館などの利用者数推移を問う。

住民ニーズを満たす事業を実施するなど、市民と協働で施設運営を行っています。一方で、市の文化行政を支えている文化協会の活性化への取り組みが急務と考えます。

白井なおこ

(無党派)

学校に行けな・行かない子ども達の声

を聴き、多様な学びの実現を！

わがままな教室の居心地良い空間にする工夫は、個人空間を確保することと安心して通塾する効果が見られます。大人数で学ぶ際も、長机と扇形

新井ともはる

(無党派)

地域通貨の基本的な考え方を問う。

人々の信頼や信用に基づくものであり、市のみで流通する通貨であることが前提と考えます。

4月に施行「2024年問題」で再配

国や都の補助事業を見据つて関係課で協議します。

島谷広則

(チームからい)

教育現場のこれから

について「ICT環境・合同部活動・校施設の複合化

デジタル教科書の水準展開への見解を問う。

主に小学校高学年、中学校学習者用端末にデジタル教科書をインストールして研究しています。今後も継続し、特別支援学級、特別支援教室においても、児童・生徒の状況にあわせて活用します。

岡田じゅん子

(日本共産党)

あらためて、不正の全容解明を！川辺堀之内土地区画整理組合に関する補助金返還裁判の結果を踏まえ、行政にもとめられること。

再発防止のため、区画整理課職員による事務監査などのチェック、総会、理事会への出席など、組合運営に積極的に関与しています。

運行事業者である京王バスとミニバス経路増設に向け調整を進めます。

奥住匡人

(自由民主党)

今すぐ解消を！子どもが育ち学ぶ場で、人手と時間が足りない！

教職員の欠員が発生した際は、年間を通じて都教育委員会に対し、働きかけを行っています。

公共交通における日野市の役割、バス路線整備、歩道整備など、多世代が共に集まり作業を行うなど、交流を図る事業も世代によるコミュニティの形成を促進します。

三世代近居・同居への応援策を問う。

支援の方法、有効性など、他市や民間の事例を参考にします。

奥野りん子

(無党派)

区画整理裁判を長引かせた責任を問う

川辺堀之内土地区画整理組合の不正と歴史館、市民会館などの利用者数推移を問う。

新選組ふるさと歴史館では、コロナ前の水準に戻りつつあります。市民会館の利用状況は、令和元年度と比較して約73%まで回復しました。今後の方向性を問う。

利用者の安全に配慮するとともに、芸術文化に触れる機会を提供するため、定期的に改修や修繕などを実施します。

市民の文化権を守るために、新選組ふるさと歴史館、市民会館などの利用者数推移を問う。

住民ニーズを満たす事業を実施するなど、市民と協働で施設運営を行っています。一方で、市の文化行政を支えている文化協会の活性化への取り組みが急務と考えます。

須崎貴寛

(自由民主党)

子育てを育てる街について、心の拠り所をともにつくる。

市制60周年記念事業で作成した地域マップの今後の活用について問う。

公共施設、小・中学校への掲示や、まち歩きイベントなどの実施に活用する予定で、

広域連携について、オープンプレイション環境形成と三

中野あきと

(日本共産党)

物価高騰から暮らしを守り、教育・子育て、個人の尊厳と多様性を尊重・保障する予算編成をいふこと、自治体ができること、やらなければならないこと。

物価高騰から市民生活を守る予算編成を。物価高騰による支出増が、収入面を上回っている状況が生じているため、

伊藤あゆみ

(自由民主党)

芸術文化とともに幸せである日野づくり

市民の文化権を守るために、

新選組ふるさと歴史館、市民会館などの利用者数推移を問う。

新選組ふるさと歴史館では、コロナ前の水準に戻りつつあります。市民会館の利用状況は、令和元年度と比較して約73%まで回復しました。今後の方向性を問う。

利用者の安全に配慮するとともに、芸術文化に触れる機会を提供するため、定期的に改修や修繕などを実施します。

市民の文化権を守るために、新選組ふるさと歴史館、市民会館などの利用者数推移を問う。

住民ニーズを満たす事業を実施するなど、市民と協働で施設運営を行っています。一方で、市の文化行政を支えている文化協会の活性化への取り組みが急務と考えます。

白井なおこ

(無党派)

学校に行けな・行かない子ども達の声

を聴き、多様な学びの実現を！

わがままな教室の居心地良い空間にする工夫は、個人空間を確保することと安心して通塾する効果が見られます。大人数で学ぶ際も、長机と扇形

新井ともはる

(無党派)

地域通貨の基本的な考え方を問う。

人々の信頼や信用に基づくものであり、市のみで流通する通貨であることが前提と考えます。

4月に施行「2024年問題」で再配

国や都の補助事業を見据つて関係課で協議します。

島谷広則

(チームからい)

教育現場のこれから

について「ICT環境・合同部活動・校施設の複合化

デジタル教科書の水準展開への見解を問う。

主に小学校高学年、中学校学習者用端末にデジタル教科書をインストールして研究しています。今後も継続し、特別支援学級、特別支援教室においても、児童・生徒の状況にあわせて活用します。

岡田じゅん子

(日本共産党)

あらためて、不正の全容解明を！川辺堀之内土地区画整理組合に関する補助金返還裁判の結果を踏まえ、行政にもとめられること。

再発防止のため、区画整理課職員による事務監査などのチェック、総会、理事会への出席など、組合運営に積極的に関与しています。

運行事業者である京王バスとミニバス経路増設に向け調整を進めます。

奥田じゅん子

(自由民主党)

今すぐ解消を！子どもが育ち学ぶ場で、人手と時間が足りない！

教職員の欠員が発生した際は、年間を通じて都教育委員会に対し、働きかけを行っています。

公共交通における日野市の役割、バス路線整備、歩道整備など、多世代が共に集まり作業を行うなど、交流を図る事業も世代によるコミュニティの形成を促進します。

三世代近居・同居への応援策を問う。

支援の方法、有効性など、他市や民間の事例を参考にします。

鈴木洋子

(自由民主党)

60周年を契機に拓く日野の未来を問う

地域でのビジネスを策定する取り組みを問う。

人々や資本をつなぐためのフューッティションの心構えを学ぶ講座や、自分の行いたい取り組みをプレゼンテーションし、表現する、ひの未来ストーリーフェスを開催しました。今後は、個別で多様な取り組み事例や問題意識などを見える化することで、取り組みを広げていくような展開を検討しています。

谷和彦

(自由民主党)

「日野用水」を世界に発信しよう！施設遺産に登録すること、水田および用水路の保全につなげていくことを考えています。

中野あきと

(日本共産党)

物価高騰から暮らしを守り、教育・子育て、個人の尊厳と多様性を尊重・保障する予算編成をいふこと、自治体ができること、やらなければならないこと。

物価高騰から市民生活を守る予算編成を。物価高騰による支出増が、収入面を上回っている状況が生じているため、

伊東秀章

(無党派)

ペット防災

ペット防災の現状を問う。

ペット同行避難についての心得と準備をホームページで閲覧できるほか、イベントでも周知啓発を行っています。

動物救護本部の立ち上げの可能性を問う。

現段階では、地域防災計画や協定の状況から、一定の整備がされており、

馬場賢司

(公明党)

幼児教育の今後の在り方について

空き教室を活用し、週1回から利用可能な定期的な預かり制の構築を所望型認定こども園の設置など、公立幼稚園の機能維持しながら課題に対応できる方法について、検討を進める必要があると考えます。

佐藤琢磨

(無党派)

市の情報発信 情報配信とサイバー防衛について問う

サイバー攻撃に対する対策について問う。

外部からの攻撃と職員の情報セキュリティに対する意識向上のための研修会実施、内部や外部の監査と同時にインターネット出入口は東京都区市町村の広域で監視する仕組みを導入しています。

伊藤あゆみ

(自由民主党)

芸術文化とともに幸せである日野づくり

市民の文化権を守るために、

新選組ふるさと歴史館、市民会館などの利用者数推移を問う。

新選組ふるさと歴史館では、コロナ前の水準に戻りつつあります。市民会館の利用状況は、令和元年度と比較して約73%まで回復しました。今後の方向性を問う。

利用者の安全に配慮するとともに、芸術文化に触れる機会を提供するため、定期的に改修や修繕などを実施します。

市民の文化権を守るために、新選組ふるさと歴史館、市民会館などの利用者数推移を問う。

住民ニーズを満たす事業を実施するなど、市民と協働で施設運営を行っています。一方で、市の文化行政を支えている文化協会の活性化への取り組みが急務と考えます。

白井なおこ

(無党派)

学校に行けな・行かない子ども達の声

を聴き、多様な学びの実現を！

わがままな教室の居心地良い空間にする工夫は、個人空間を確保することと安心して通塾する効果が見られます。大人数で学ぶ際も、長机と扇形

新井ともはる

(無党派)

地域通貨の基本的な考え方を問う。

人々の信頼や信用に基づくものであり、市のみで流通する通貨であることが前提と考えます。

4月に施行「2024年問題」で再配

国や都の補助事業を見据つて関係課で協議します。

島谷広則

(チームからい)

教育現場のこれから

について「ICT環境・合同部活動・校施設の複合化

デジタル教科書の水準展開への見解を問う。

主に小学校高学年、中学校学習者用端末にデジタル教科書をインストールして研究しています。今後も継続し、特別支援学級、特別支援教室においても、児童・生徒の状況にあわせて活用します。

岡田じゅん子

(日本共産党)

あらためて、不正の全容解明を！川辺堀之内土地区画整理組合に関する補助金返還裁判の結果を踏まえ、行政にもとめられること。

再発防止のため、区画整理課職員による事務監査などのチェック、総会、理事会への出席など、組合運営に積極的に関与しています。

運行事業者である京王バスとミニバス経路増設に向け調整を進めます。

奥田じゅん子

(自由民主党)

今すぐ解消を！子どもが育ち学ぶ場で、人手と時間が足りない！

教職員の欠員が発生した際は、年間を通じて都教育委員会に対し、働きかけを行っています。

公共交通における日野市の役割、バス路線整備、歩道整備など、多世代が共に集まり作業を行うなど、交流を図る事業も世代によるコミュニティの形成を促進します。

三世代近居・同居への応援策を問う。

支援の方法、有効性など、他市や民間の事例を参考にします。

鈴木洋子

(自由民主党)

60周年を契機に拓く日野の未来を問う

地域でのビジネスを策定する取り組みを問う。

人々や資本をつなぐためのフューッティションの心構えを学ぶ講座や、自分の行いたい取り組みをプレゼンテーションし、表現する、ひの未来ストーリーフェスを開催しました。今後は、個別で多様な取り組み事例や問題意識などを見える化することで、取り組みを広げていくような展開を検討しています。

谷和彦

(自由民主党)

「日野用水」を世界に発信しよう！施設遺産に登録すること、水田および用水路の保全につなげていくことを考えています。

中野あきと

(日本共産党)

物価高騰から暮らしを守り、教育・子育て、個人の尊厳と多様性を尊重・保障する予算編成をいふこと、自治体ができること、やらなければならないこと。

物価高騰から市民生活を守る予算編成を。物価高騰による支出増が、収入面を上回っている状況が生じているため、

伊東秀章

(無党派)

ペット防災

ペット防災の現状を問う。

ペット同行避難についての心得と準備をホームページで閲覧できるほか、イベントでも周知啓発を行っています。

動物救護本部の立ち上げの可能性を問う。

現段階では、地域防災計画や協定の状況から、一定の整備がされており、

馬場賢司

(公明党)

幼児教育の今後の在り方について

空き教室を活用し、週1回から利用可能な定期的な預かり制の構築を所望型認定こども園の設置など、公立幼稚園の機能維持しながら課題に対応できる方法について、検討を進める必要があると考えます。

佐藤琢磨

(無党派)

市の情報発信 情報配信とサイバー防衛について問う